

重防食塗装もついに水性塗料の時代に!

水性テクト^{鋼構造物塗装工法}システム

日本塗料工業会規格 JPMS 30 及び 31 適合品

WATERBORNE PAINT

TECT^{SYSTEM}

環境にやさしく、安全・低臭!

水性システムはオール非危険物!

VOC排出量を大幅に削減!

産業廃棄物を削減!

水性洗剤(非危険物)を使用すれば、
塗装用具の洗い作業も安全に実施できます!

水性テクトシステム

鋼構造物塗装工法

大型構造物・橋梁（鉄道橋・道路橋）・プラント・その他（没水環境雰囲気以外）
一部の地方公共団体・鉄道会社の実橋にて多数の実績があります。

環境にやさしく、
安全・低臭！

VOC排出量を
大幅に削減！

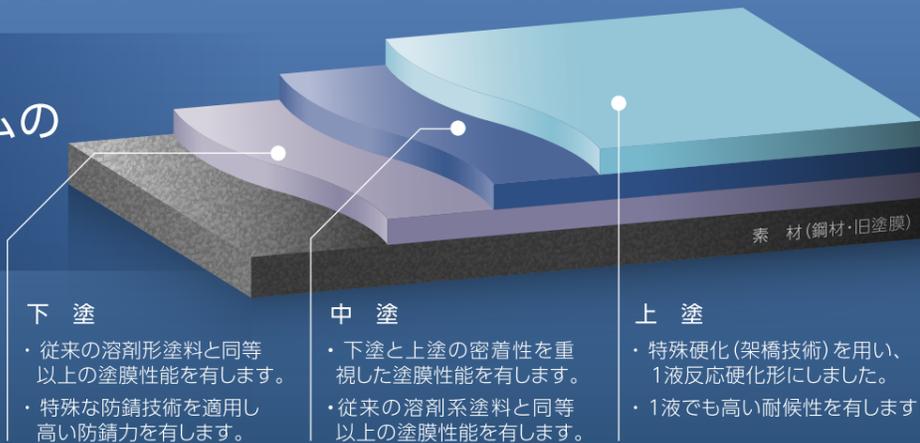
特長

水性システムは
オール非危険物！
（洗浄剤も非危険物）

上塗塗料は1液形のため、
・ポットライフ（使用時間）に制限がありません。
・混合時の計量等が必要ありません。
・産業廃棄物を削減できます。

日本塗料工業会規格 JPMS 30 及び 31 適合品です

水性テクトシステムの 技術的特長



高い防錆力を示すそのワケ！

短期間であれば塩水中でも鋼材が腐食しない要素技術を展開し、高い防錆力を示すエポキシ樹脂との併用でさらに防錆力をUPさせました。

浸漬48時間後

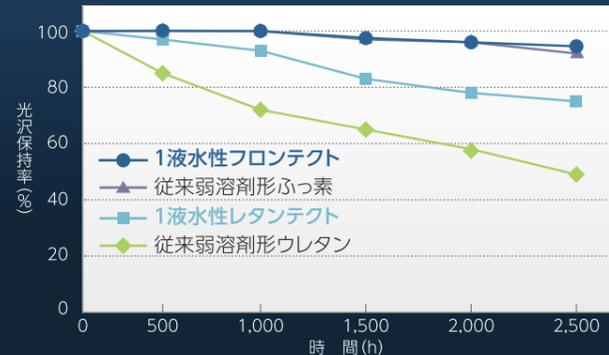


5wt%塩化ナトリウム水溶液に水性エポテクト下塗塗料に用いている特殊防錆剤を1wt%溶解させた塩水に鋼板を浸漬。

高い耐候性を示すそのワケ！

特殊硬化（架橋技術）を用いることにより1液でも架橋しますので2液形と同様に強靱な塗膜を形成します。それにより高い耐候性を有します。

促進耐候性試験 (JIS K 5600-7-7 キセノンランプ法)



■下塗 (JIS K 5551 C種 規格試験方法に準拠)

試験項目	規格	水性エポテクト下塗
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること	合格
半硬化乾燥性	半硬化乾燥していること	合格
塗装作業性	支障がないこと	合格
塗膜の外観	正常であること	合格
ポットライフ	規定時間後、使用できること	合格
たるみ性	たるみがないこと	合格
上塗適合性	支障がないこと	合格
耐衝撃性	割れ及びはがれがないこと	合格
付着性	分類1*又は分類0*	合格
耐熱性	外観が正常である。試験後の付着性試験で分類2*、分類1*又は分類0*	合格
サイクル腐食性	さび、膨れ、割れ及びはがれがない	合格
塗膜中の鉛の定量(質量分率%)	0.06以下	合格
塗膜中のクロムの定量(質量分率%)	0.03以下	合格

※【分類2】塗膜がカットの線に沿って、及び又は交差点においてははがれている。クロスカット部分で影響を受けるのは明確に5%を超えるが15%を上回ることはない。
【分類1】カットの交差点における塗膜の小さなはがれ。クロスカットの部分で影響を受けるのは、明確に5%を上回ることはない。
【分類0】カットの線が完全に滑らかで、どの格子の目にもはがれがない。

■上塗 (JIS K 5659 規格試験方法に準拠)

試験項目	規格	1液水性レタンテクト	1液水性フロントテクト
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になること	合格	合格
表面乾燥性	表面乾燥すること	合格	合格
塗膜の外観	正常であること	合格	合格
ポットライフ	規定時間後、使用できること	合格	合格
隠ぺい率 (%)	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄は50以上、その他の色は80以上であること	合格 (白・淡彩のみ)	合格 (白・淡彩のみ)
鏡面光沢度 (60度)	70以上	合格	合格
耐屈曲性	折曲げに耐えること	合格	合格
耐おもり落下性 (デュボン式)	塗膜に割れ及びはがれが生じないこと	合格	合格
層間付着性II	異常がないこと	合格	合格
耐アルカリ性	異常がないこと	合格	合格
耐酸性	異常がないこと	合格	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐えること	合格	合格
混合塗料中の加熱残分 (%)	白・淡彩は50以上、その他の色は40以上であること	合格 (白・淡彩のみ)	合格 (白・淡彩のみ)
促進耐候性	1級ふっ素 照射時間2000時間の促進耐候性に耐えること	合格	合格
	3級ウレタン 照射時間500時間の促進耐候性に耐えること	合格	合格

■塗装仕様例【塗替】

工程	塗料名・処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	目標膜厚 (μm)	塗装方法	塗装間隔 (20℃)	希釈剤 (希釈率)
素地調整	3種ケレン以上 油脂、汚れなどは、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去し、清浄な面とする。					
補修塗り	水性エポテクト下塗 ライトグレー (N-8.5近似)	(0.23/0.28)	(60)	ハケ、ローラー スプレー	1日以上10日以内	上水 (0~3%)
下塗 (1回目)	水性エポテクト下塗 グレー (N-7.0近似)	0.23/0.28	60	ハケ、ローラー スプレー	1日以上10日以内	上水 (0~3%)
下塗 (2回目)	水性エポテクト下塗 ライトグレー (N-8.5近似)	0.23/0.28	60	ハケ、ローラー スプレー	1日以上10日以内	上水 (0~3%)
中塗	水性エポテクト中塗 白・淡彩色	0.12/0.15	30	ハケ、ローラー スプレー	1日以上10日以内	上水 (0~3%)
上塗	1液水性レタンテクト上塗 白・淡彩色	0.09/0.11	25	ハケ、ローラー スプレー	1日以上10日以内	上水 (0~5%)

ふっ素樹脂仕上げの場合

上塗	1液水性フロントテクト上塗 白・淡彩色	0.09/0.11	25	ハケ、ローラー スプレー	1日以上10日以内	上水 (0~5%)
----	------------------------	-----------	----	-----------------	-----------	-----------

※水性塗料使用後の塗装用具洗浄には、安全で洗浄性に優れた「水性テクトセーフティ洗浄剤」の使用をお勧めします。

■水性テクトシステム製品構成

塗料名	塗料一般名称	パッケージ	色相	荷姿
水性エポテクト下塗	水性エポキシ樹脂塗料下塗	2液	グレー (N-7.0近似) ライトグレー (N-8.5近似)	16kgセット(ベース:14kg/硬化剤:2kg)
水性エポテクト中塗	水性エポキシ樹脂塗料中塗	2液	白・淡彩色	16.2kgセット(ベース:14.4kg/硬化剤:1.8kg)
1液水性レタンテクト上塗	水性ポリウレタン樹脂塗料上塗	1液	白・淡彩色	15kg
1液水性フロントテクト上塗	水性ふっ素樹脂塗料上塗	1液	白・淡彩色	15kg
水性テクトセーフティ洗浄剤	水性洗浄剤 (非危険物)	1液	無色透明	15kg

WATERBORNE PAINT TECT SYSTEM

施工上の注意事項

- ①被塗面の塵埃・油分・その他の付着物は完全に除去してください。
- ②下地処理は必ず3種以上の処理を行い、入念な目粗しをしてください。
- ③所定の希釈剤以外は使用しないでください。
- ④本塗装仕様以外の仕様にて塗装される場合は最寄の営業所へご連絡ください。
- ⑤所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- ⑥塗装仕様に記載の塗装間隔は、屋外で気温20℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗装間隔が長くなる場合がありますのでご注意ください。
- ⑦汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- ⑧硬化剤は必ず所定の硬化剤を使用し、混合比率を遵守してください。
- ⑨顔料沈降している場合がありますので、閉缶後よくかき混ぜて中味を均一にしてください。
- ⑩旧塗膜に光沢感がある場合と著しくチョーキングが発生している場合は、入念に目粗しを行ってください。
- ⑪さびが残った面に塗装されると、点さびが発生する場合があります。従って、さびの除去は入念に実施してください。
- ⑫素材（旧塗膜が無い）へ塗装した際、本品にピンホールや本品の塗り残し部が存在した場合、次工程塗料を塗装する点さびが発生する可能性がありますので、下塗塗料は必ずピンホールや塗り残しがないよう塗装してください。
- ⑬水による希釈は規定量を厳守してください。過希釈はタレやハジキが生じ易く、さらに膜厚確保ができず耐久性が損なわれます。
- ⑭亜鉛めっきやステンレスなどの非鉄金属や没水部への適用は避けてください。
- ⑮下塗、中塗塗料は気温10℃以下、上塗は気温5℃以下さらに、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
- ⑯塗装後3時間以内に降雨・降雪のおそれがある場合や強風時は塗装を避けてください。
- ⑰塗り重ね時間は塗装環境（温度・湿度・換気・風通し易さ）や膜厚によって変動します。
- ⑱一度に厚塗りすると乾燥不良となり、種々の問題をおこしますので適度な膜厚で塗装してください。
- ⑲使用時には塗料を十分に攪拌してからご使用ください。
- ⑳小分調合を行う場合には秤等を用いて混合比を遵守してください。
- ㉑可使時間を超過したものについては、作業上や見た目に問題がなくても使用しないでください。
- ㉒獣毛ハケを使用するとハケが固まったり塗料がタマになりやすいので、水性塗料用刷毛をご使用ください。
- ㉓速乾性のため、刷毛やローラーが固まる場合があります。休憩時間等で作業時間に空きができる場合は、塗料に密着させるなどの処置を行ってください。
- ㉔取り合いなどによって弱溶剤形塗料を塗装される場合は、塗り重ね時間を十分に確保することをお願いします。（強溶剤形塗料は避けてください）
- ㉕エアレスによる塗装の場合は、塗装ミスによる汚染防止のために十分な養生を行ってください。
- ㉖塗料は反応硬化タイプですので、洗浄は作業が終了した時点で行ってください。
- ㉗洗浄は基本的に水道水を用いますが、落ちにくい場合はラッカーシンナーをご使用ください。
- ㉘塗料が皮膚につくと人によってはカブレをおこすことがあるので、皮膚につかないように取り扱ってください。
- ㉙製品をご使用前に必ず製品説明書、SDSをご参照ください。

ご使用上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。
- 予 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 防 本来の目的以外に使用しないこと。
- 策 指定材料以外のものは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。
- 任の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱いは、洗眼、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
- 対 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

- 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
- 対 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 対 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
- 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 保 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 廃 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）
- 施 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
- 例え、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
東北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
北関東 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
東京 TEL(03)5711-8902 FAX(03)5711-8932
中部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
大阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
中国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
四国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
九州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご了承ください。

ご用命は

(18年11月06日PPO) カタログNo.412